

教科用図書選定に関する経過報告書

第九地区教科用図書採択協議会

第九地区内の市町立小・中学校及び特殊教育諸学校の小・中学部において使用する教科用図書を公正かつ適正に選定するために、第九地区教科用図書採択協議会を設置するとともに調査研究を重ね、選定業務を完了した。

以下、公正かつ適正な選定に至るまでの経過、結果及び理由並びに採択協議会委員名及び選定委員会総括部会委員名を明らかにする。

1. 本協議会並びに諸委員会の経過

(1) 第九地区教科用図書採択協議会

- ・ 4月10日（金） 平成27年度第九地区教科用図書採択協議会委員について、平成26年度事業報告、平成26年度決算報告及び監査報告について、第九地区教科用図書採択協議会規約について、第九地区教科用図書採択協議会の文書開示に関する要項について、教科用図書採択事務運営要項について、教科用図書の採択に係る組織及び事務局の組織について、選定委員会委員の選考（案）について、平成27年度第九地区教科用図書採択協議会予算（案）について、平成28年度第九地区中学校教科用図書採択日程について等の検討
- ・ 4月24日（金） 学識経験者、保護者代表、選定委員会委員の選考等を審議の上、決定等
- ・ 5月25日（月） 選定委員会委員に対して調査審議を委嘱
- ・ 5月25日（月） 見本本巡回展示を計画
- ・ 8月 4日（火） 選定委員会の答申を受け種目ごとに一種の中学校教科用図書を選定
- ・ 8月 4日（火） 第九地区内の市町教育委員会に選定の結果を通知

(2) 選定委員会

- ・ 5月25日（月） 採択協議会の諮問を受け日程等の確認、また、各学校への意見書提出要請を計画
- ・ 7月 7日（火） 教科用図書採択に係る各学校からの意見書提出
- ・ 7月10日（金） 学校意見の整理
- ・ 7月14日（火） 中学校調査研究部の調査研究結果の審議
- ・ 7月29日（水） 学識経験者、保護者意見聴取 答申案作成
- ・ 8月 4日（火） 種目ごとに原則として三種以上の中学校教科用図書を採択協議会に答申

2. 選定の結果（中学校）

教科用図書 教科（種目）		発行者の 番号 略称		書名	備考
		番号	略称		
国語	国語	38	光村	国語	
	書写	38	光村	中学書写	
社会	地理的分野	2	東書	新編 新しい社会 地理	
	歴史的分野	2	東書	新編 新しい社会 歴史	
	公民的分野	2	東書	新編 新しい社会 公民	
	地図	2	東書	新編 新しい社会 地図	
数学		61	啓林館	未来へひろがる数学	
理科		4	大日本	理科の世界	
音楽	一般	27	教芸	中学生の音楽	
	器楽	27	教芸	中学生の器楽	
美術		116	日文	美術1 美術2・3上 美術2・3下	
保健体育		224	学研	新・中学保健体育	
技術家庭	技術	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野	
	家庭	2	東書	新しい技術・家庭 家庭分野	
外国語		9	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE	

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
国 語	0 3 8	光村	国語 (1 ~ 3)

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ どの教材も適切であり、目標が達成できるように設定してある。生徒の発達段階に沿った内容であり、教材数や各領域のバランスもよく、系統的である。
- ・ 文学的な文章や古典等は、評価の高い教材を堅実に配置し、説明的な文章は、多様な文種を取り上げ、環境問題や情報化社会等の現代的な題材を多く取り入れている。
- ・ 資料等は各領域で過不足なく配置され、充実していて、量的にも適切である。
- ・ 各学年 7 つの単元にまとめられ、単元毎に各領域を学習する構成である。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 教材は、生徒の発達段階に即していて、3 年間の積み重ねによる確かな学力の育成や主体的な学習を促すものとなっている。
- ・ 各領域の教材が系統的、層状的に配置され、「習得」から「活用」を繰り返す等、生徒の論理的な思考を段階的に養う教材が多い。
- ・ 「学習の見通しをもとう」「学習に取り組む」「次の学習に生かす」という学習のプロセスを明示し、主体的に学習活動の充実を目指せる仕組みになっている。
- ・ 古典導入部の資料は、伝統的な言語文化への関心・意欲を喚起するものである。

(3) 分量

- ・ 本文については、1・2 年が 230 ページ程度、3 年が 210 ページ程度であり、それぞれの 1 年間で指導する分量として適切である。
- ・ 説明的な文章、古文、詩歌、言語事項など、分量のバランスがよく適切である。

(4) 使用上の便宜

- ・ 古典の原文と対訳文とで書体を変える等、字体の種類が多い。また、イラストや写真、挿絵が適切に挿入されていて、効果的である。
- ・ 「学習を広げる」の中の「資料」「付録」等を、学習の程度に応じて発展的、弾力的に使った学習が展開できる。
- ・ 書き込みが可能な形で漢字と文法の練習問題が用意され、学習の定着が図れるよう配慮されている。

(5) 印刷・製本等

- ・ B5 判、1 ページ 17 ~ 20 行で、全体の色も統一され、見やすい体裁である。
- ・ 1 年と 2・3 年でフォントの大きさを変えている。

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
書 写	0 3 8	光 村	中学書写（一・二・三年）

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ 国語科の目標達成に結びつく内容になっている。
- ・ 楷書、行書、硬筆、実用書の題材が、バランスよく取り上げられている。
- ・ 書写の基礎的・基本的な内容を系統的に生徒の発達段階に応じて身に付けることができる内容となっている。
- ・ 実用書は、壁新聞やノート等、学校生活に身近なものが多い。往復はがきや封筒、エアメール・願書の書き方等も一部、写真版で取り上げている。
- ・ 生徒の関心を高めるために、コラムでは「文字の歴史を探る」や「デザインと文字」、「手書きの力」等の記事を取り上げている。
- ・ 卷末の資料に硬筆の常用漢字の楷書・行書一覧表や毛筆補充教材がある。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 文字の大小や字の結構について指導しやすいよう詳細に説明されている。
- ・ ①基礎・基本の確認、②毛筆で確認、③応用（毛筆での学習を生かし、硬筆で書く）、④自己評価を行うという配列になっている。
- ・ 主体的な学びができる工夫と学習の進め方がわかりやすく丁寧に解説してあり、毛筆からさまざまな硬筆へ無理なく学習できるようになっている。
- ・ 特に、平仮名の（は・ま・ほ・な）等の結びについて字源を意識させた配慮があり、写真を使った説明がある。
- ・ 楷書の範書は兼毫に近い筆で書かれていて、基礎・基本を踏まえている。行書も適度に柔らかい。
- ・ 毛 筆：伸びやかな書風である。章法（字と余白のバランス）も良い。
- ・ 硬 筆：字形に癖がなく、伸びやかな書風である。
- ・ 平仮名：転折部のあたり等わかりやすく筆力ある書風である。

(3) 分量

- ・ 総ページ数 119 ページ。（一年：24、二年：16、三年：9、資料編：69）

(4) 使用上の便宜

- ・ 教科書が一冊になっており、学習内容の振り返りがしやすくなっている。
- ・ 基本運筆については見開きで写真が掲載されている。淡墨やイラストで、穂先の動きを説明している。
- ・ 執筆の姿勢、用具の置き方、毛筆・硬筆の持ち方、片づけ方の写真等が掲載されているので活用しやすい。
- ・ 硬筆でなぞり書きができる欄があり、文字の特徴がとらえやすい。
- ・ 教材毎にワークシートがあり、活用しやすい。

(5) 印刷・製本等

- ・ 表面ビニール加工、製本3ヶ所綴じ、活字は見やすい。

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種別	発行者の 番号		教科書名(シリーズ)
	略称		
社会 (地理)	2	東書	新編 新しい社会 地理

選定理由

(1) 内容の範囲および程度

- 教科の目標達成に結びつく内容になっている。
- 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応している。
- 学習指導要領に示す教科及び分野の目標に従い、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。

(2) 内容に関する配慮事項

- 環境・エネルギー、防災・安全、人権・平和など今日的な課題の解決のための意識や態度を育てるために「深めよう」やコラムなどが記載されている。また、地理・歴史・公民の3分野との関連を図ることができるようになっている。
- 各見開きの最後に、説明・要約などの言語活動によって学習内容をまとめる「確認」があり、生徒の思考力・判断力・表現力を育むことが出来るような構成になっている。
- 調べ学習や地域調査に必要なスキルを身に付けさせるために具体的な手順などを示し、自主的・自発的に探求活動が行えるよう工夫している。
- 「地理スキルアップ」を設け、地図やグラフの読み取り方・作り方、写真の読み取り方など地理的技能を身に付ける方法を具体的に示すと共に、確認問題の「ワーク」を適宜設けることで、確実に学習内容を定着できるよう、個に応じた指導への配慮がされている。
- 目的意識を持って地域的特色を学習できるように、世界や日本の諸地域の学習では「概観部」→「展開部」→「終結部」の三段階の構成になっている。
- 日本の領域についての学習では、北方領土・竹島・尖閣諸島について詳しく説明をしている。

(3) 分量

- 目次・索引、巻末資料などを除いたページ数は277ページであり、課題学習・発展的学習を含め、120時間の授業時数に照らし適切に配分されている。
- 単元及び内容に偏りがなく、全体的に調和がとれている。

(4) 使用上の便宜

- 巻末に「用語解説」が設けられ、地理学習を進める上で必要不可欠な用語の理解を図っている。
- 歴史的分野、公民的分野でも活用できる資料には「分野関連マーク」が付され、多面的・多角的な学習を可能にしている。
- 国宝・重要文化財、世界遺産にはマークを付し、伝統や文化に対する理解などを育てられるよう配慮されている。

(5) 印刷、製本等

- 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などは適切である。

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の 番号		教科書名（シリーズ）
	略称		
社会（歴史）	2	東書	新編 新しい社会 歴史

選定理由

（1）内容の範囲及び程度

- 学習指導要領の内容と整合性が図られており、教科の目標達成に結びつく内容となっている。
- 基礎的・基本的事象のみならず、言語活動や課題解決学習等の内容も含まれており、生徒の発達段階に適応した内容になっている。

（2）内容に関する配慮事項

- 各時代の学習の導入を小学校での学習内容を振り返る構成にしたり、分野関連マーケにより3分野の関連をわかりやすくしたりすることで、系統的・発展的指導がしやすくなるよう工夫している。
- 1時間の学習のふり返りを行う「確認」が設定され、多彩な活動を通して学習内容を自分の言葉でまとめる言語活動を取り入れている。
- 「スキルアップ」「深めよう」「調査の達人」「わたしたち歴史探検隊」等、学び方や調査の仕方の学習、発展的な学習を通して、体験的活動や思考力・判断力・表現力を高める教材が豊富に配置されている。
- 学習内容を象徴する資料を冒頭に大きく配置することで、生徒の興味・関心を引き出し、学習への意欲を高められるよう配慮している。
- 本文と関連するトピック「歴史にアクセス」、「深めよう」など生徒が興味を持って学習できるよう配慮している。
- 人権・平和・環境・女性など現代社会の課題に関わる記述を充実させ、生徒がこれらの課題に主体的に考え方行動できるよう工夫している。

（3）分量

- 全体の分量287ページ（本文275ページ）、授業時数125時間、課題学習・発展学習等に5時間で計画している。
- 単元及び内容に偏りがなく、全体的に調和がとれている。

（4）使用上の便宜

- 「見開き2ページ=1単位時間」であり、本文記述と図版資料等を一体化して捉えやすくし、学習の基礎基本を確実に習得できるよう工夫している。また、平易な表現で因果関係や時系列などをわかりやすく記述している。
- 本文や資料の位置が一定し見やすい。また、小さい資料は实物大で、大きい資料はサイズを付することで、生徒が具体的なイメージを持って学習できるよう工夫されている。
- 時代感覚を養う「時代スケール」を入れ、常に日本の歴史の流れを意識し、世界の歴史と同時代史的に捉えられるようにしている。
- 卷末に重要語句の「用語解説」を掲載している。

（5）印刷・製本等

- 文字や写真が鮮明である。文字の大きさ・字体、行間、ルビなどが適切である。
- 再生紙、植物油インキを使用している。

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発行者 の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会(公民)	2	東書	新編 新しい社会 公民

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 学習指導要領に示された公民的分野の目標を達成するために必要な基本的な事項・事柄に厳選した適切な内容になっている。
- 現代の社会事象に興味・関心を持たせ、主体的な学習や課題解決的な学習ができる内容になっている。
- 文章表現や内容などが生徒の発達段階に即している。

(2) 内容に関する配慮事項

- 「現代社会とわたしたちの生活」を公民学習の導入とし、「個人の尊重と日本国憲法(政治的分野)」「現代の民主政治と社会(政治的分野)」「私たちの暮らしと経済(経済的分野)」「地球社会とわたしたち」「より良い社会を目指して」の順番で配列されている。
- 小学校での学習を生かした「見通し」と「振り返り」で基礎・基本の定着を図る構造化された紙面構成であり、授業での活用が大変図りやすい。また、段階的な言語活動を意識しており、生徒の学習を無理なくすすめることができる。
- 各章の導入に作業的な学習を設定したり、「公民にアクセス」や「公民にチャレンジ」などを掲載したりすることで、生徒が興味・関心を持って学習に取り組めるように配慮されており、思考力・判断力の向上のために活用することができる。
- 「調査の達人」で、公民の学び方や学んだことの表現方法などについての技能習得ができるように配慮されている。
- 地理・歴史・公民の3分野を関連させて、持続可能な社会の形成に参画する資質・能力を養うとともに、我が国の郷土の豊かな伝統や文化を知り、尊重する資質・能力を高めるための手立てが具体的にとられている。
- 国内外の状況を踏まえて、最新の現代的課題を取り上げることで、国際的な協力・協調が政治や経済の面で一層進んできたことに気づくことができるよう工夫されている。

(3) 分量

- 本文212ページ、学習資料32ページ、索引2ページで適切な分量である。
- 2ページを1単位時間として計画されており、1単位時間の学習内容も適切である。

(4) 使用上の便宜

- わかりやすい文章表現で書かれている。
- 卷末に重要語句の解説があったり、日本国憲法の側注に難解な語句の解説があったりして理解しやすい。
- 学習のまとめに自己評価欄を入れてあるのは新しい視点である。
- 「Dマークコンテンツ」により、教科書に関連した資料や動画等を大変活用しやすくなっており、教師の教材研究や生徒の主体的な学習を進めていく上で有効である。

(5) 印刷・製本等

- オールカラーで見やすい。また、目に優しい色使いであり、特別支援教育の立場からの校閲もなされており、全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインされている。
- 文字の大きさ・字体・行間とも適切であり、再生紙、植物性インキも使用されている。

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種別	発行者の 番号 略称		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
地図	2	東書	新編 新しい社会 地図

選定理由

(1) 内容の範囲および程度

- 学習指導要領に示す教科の目標に従い、社会科の学習内容に沿った資料を選定し、教科書と合わせて学習することで学習効果が高まるよう配慮されている。
- 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応している。

(2) 内容に関する配慮事項

- 地理的分野の教科書構成に沿って「世界」と「日本」で構成され、それぞれ「一般図」と「全体の資料」と「各州・地方の資料」から成り立っている。
- 歴史的分野、公民的分野でも活用できるように関連する地図や資料が掲載され、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。
- テーマごとに資料を検索できる「資料さくいん」があり、学習内容に適した資料がさがしやすいよう工夫されている。
- 読図のポイントや考察の視点が示されている。また、関連資料を参照しやすい工夫がなされおり、多面的・多角的に考察ができるよう配慮されている。
- 防災、文化、環境に関する資料や図の他、社会科の学習内容に沿った資料が豊富で、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。
- 日本の領土や排他的経済水域を捉えられる地図が掲載されるとともに、近隣諸国と領土を巡る問題を抱えている地域の写真も掲載され、領土についての認識を深められるようになっている。
- 資料は最新のものであり、出所、出典が明示されている。

(3) 分量

- 総ページ数 184 ページ(索引を含む)で適量である。
- 日本や世界に関する一般図・資料(地図・写真・グラフ)が偏りなく配置されている。

(4) 使用上の便宜

- 地図帳の基本的な見方・使い方を解説したページを巻頭に設けるとともに、具体的な活用例を示し、地図帳の使い方を定着できるようにしている。
- 世界地図には、地球上のどこに位置するのかが一目でわかるように、地球儀をかたどった位置図を掲載している。また、日本地図においても、日本列島のどこに位置するのかがわかる位置図が掲載されている。
- 地図中の地名には、全てふりがなが付してある。

(5) 印刷、製本等

- 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などは適切である。

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の 番号		教科書名(シリーズ)
	略称		
数学	61	啓林館	未来へひろがる数学

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 全領域において、基礎的・基本的な事項を重視した内容になっており、教科の目標を達成できる。
- 補充的・発展的な問題や課題は、各单元や学年ごとに配慮されている。また、別冊にも各章で学んだ内容と関連のある内容や各章の学習を活用した場面を取り上げ、様々な子どもの実態に合わせることができる内容になっている。
- 各单元の内容を徐々に難易度を上げながら定着できるようにしている。

(2) 内容に関する配慮事項

- 「数と式」「图形」「関数」「資料の活用」の各領域の配置は、全学年で同様の配列になっており、学年相互の関連が図られている。
- 本編では、基礎的・基本的な内容だけでなく補充的な問題や発展的な内容を巻末に掲載している。
- 別冊では、各章に関連する既習の内容や活用場面を提示し、探究的な学習の教材としても使用できるように工夫している。
- 学習の内容や問題は、身近な事象を題材に取り上げている。また、数学の歴史やトピックがそれぞれの单元で紹介されている。生徒が数学と自分達の生活との関連について興味・関心が持てるようしている。
- 「ひろげよう」「身のまわりへ広げよう」のタイトルのところで数学を活用する態度の育成と有用性を実感できるようにしている。
- 言語活動を充実させることができるように、話し合い、説明、ノート・レポートの作成等の活動が行えるように工夫されている。
- 各節ごとにとびらのページがあり、子どもに課題意識をもたせるようにしている。また、全学年で厚紙を使った教材が準備されており、操作活動を通して学習を進める工夫がなされている。
- 巻末の「力をつけよう(繰り返し練習)」では、多くの問題を準備し、反復練習ができるように配慮されている。

(3) 分量(ページ数、割合等)

- 全学年とも分量は、各单元ごとに偏りなく配慮されており適切な量である。

(4) 使用上の便宜

- 数学の学習の進め方や教科書の使い方、ノート指導などの学び方についての内容が巻頭に掲載されており、オリエンテーション等で十分な学びの指導ができるように工夫されている。
- 既習事項を振り返ったり、数学的な見方や考え方を伸ばす内容についてはマークを示すなど、指導しやすいように配慮されている。
- 「みんなで話し合ってみよう」「自分の言葉で伝えよう」「自分の考えをまとめよう」のタイトルのところで言語活動を充実させるようにしている。
- 「ふりかえり算数」のタイトルで小学校の内容を例示し、小中のつながりを意識した内容になっている。
- 別冊に本冊で取り上げられている「基本のたしかめ」「章末問題」等の解答を載せ、問題と解答を並べて答え合わせができるように工夫し、家庭での自主的な学習もできるようにしている。

(5) 印刷・製本等

- 印刷はカラー印刷で鮮明であり、ユニバーサルデザインに配慮(カラーバリアフリーを含む)している。
- 再生紙、植物油インキを使用し環境にも配慮されている。
- 無償支給の記載がある。

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の 番号		教科書名(シリーズ)
	略称		
理科	4	大日本	理科の世界

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 学習指導要領の趣旨に即し、教科の目標が十分達成できる内容になっている。
- 内容の程度は生徒の発達段階に適応している。
- 学習指導要領に示す教科及び各分野の目標、並びに内容に示す事項を不足なく取り上げている。
- 観察・実験は、予想したり着目点を確かめたりして目的意識をもてるようにしている。
- 「結果の整理」「結果から考えよう」などの考察で、結果を分析し解釈する力が身につくようになっている。
- 「話し合ってみよう」という欄を設けて、観察・実験結果をもとに考察し、原理や法則を探求する活動を取り上げている。
- 「思いだそう」というマークで、小学校や前学年の学習内容を示し、「〇〇では」というマークで、他教科との関連を示している。
- 単元末に「終章」が設定され、単元で習得した知識を使って考える課題解決学習を通して、活用する力を身につくようにしている。

(2) 内容に関する配慮事項

- 各単元の内容の関連性や教材入手時期、観察・実験のしやすい時期、発達段階などに配慮して標準的な学習の順番に配している。
- 「わたしのレポート」などで表現力、「話し合ってみよう」でコミュニケーション能力の指導ができるように配慮している。
- 各単元のまとめのページでは、自学自習の便宜をはかるため、キーワード（重要語句）を自分で説明して確認できるようにしている。
- 特別支援教育の配慮として、吹き出しの改行位置を読みやすくしている。
- 中学校理科の3年間のまとめができるように、1、2年の復習問題を掲載している。

(3) 分量(ページ数、割合など)

- 学習指導要領の定める内容が、授業時数から見て適切に配分されている。
- 各分野、領域および内容に偏りがなく調和がとれている。
- 配当時間は、1年104時間、2年134時間、3年133時間として補充学習への余裕があり、ページ数は、1年282p、2年309p、3年333pである。

(4) 使用上の便宜

- 観察・実験の結果が次ページになるように配慮がなされている。
- 本文、説明文、挿絵、写真的配列がバランスよく整理され、学習の深まりに有効にはたらくように配置されている。
- 算数や数学の計算の仕方を紹介し、計算でつまずかないように配慮されている。

(5) 印刷・製本等

- 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間、製本の様式材料等は適切である。
- ユニバーサルデザインフォントを使用し、ユニバーサルデザインに配慮している。

3 選定理由

選定した教科書用図書

教科書 種目	発行者の 番号		教科書名(シリーズ)
	略称		
音楽	27	教芸	中学生の音楽

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

○表現領域、鑑賞領域、[共通事項]に関する

- ・基礎的・基本的な楽曲から、表現を工夫し深く味わっていくことのできる楽曲まで、全学年を通して、生徒の発達段階に対応しながら、学習指導要領に適した内容となっている。
- ・音楽文化に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高めることができるよう、我が国の郷土の伝統音楽や、諸外国の諸民族の音楽など様々な教材を取り上げている。
- ・「音楽学習 MAP」や教材ごとに[共通事項]に関するアイコンを示している。

(2) 内容に関する配慮事項

○表現領域(歌唱・創作)

- ・生徒の心情に合った歌詞及び曲調の楽曲や、豊かなハーモニーを味わうことのできる楽曲が多く掲載されている。一部に伴奏譜も掲載されていることから、ピアノ伴奏を意識しながら合唱を行うことができる。また、変声期の男声の音域に配慮した楽譜を掲載している。
- ・共通教材には、我が国で長く歌われ、我が国の文化や日本語の持つ美しさを味わえる楽曲が、縦書きの歌詞や情景を表した写真、作詞、作曲家の紹介とともに掲載されている。
- ・发声や指揮法、創作の教材には、活動の手順が示され、言葉や音階の特徴を基に表現を工夫して旋律を作る活動やイメージを持って音楽を作る活動を行うことができるような配慮がなされている。
- ・創作について、系統的に内容が構成されており、継続、発展させた学習ができる。
- ・「ここが分かれば Grade up」「Let's Create」のように、言語活動に留意した作業的、体験的な教材が示されている。

○鑑賞領域

- ・我が国や郷土の伝統的な音楽、アジア地域をはじめ、世界の様々な音楽が掲載され、幅広い鑑賞活動ができる内容である。
- ・組曲の中から生徒自身が選択し、曲の良さについてプレゼンテーションを行うなど、言語活動に留意した教材が示されている。

(3) 分量

- ・全歌唱教材 68、鑑賞教材 22、創作教材 9 と、それぞれ教材が豊富で、学年間のバランスも良く、授業時数に照らしても、その分量は適當である。

(4) 使用上の便宜

- ・全ての教材に学習目標と共通事項に関するアイコンが明示されていることで、「何を目標に」「何を学ぶのか」を意識して活動させることができる。
- ・音楽著作権については、特集で分かりやすく説明している。
- ・「この頃、日本では」「アカペラの語源」等の発展的な学習内容については、目次や本文タイトルにも明示されている。

(5) 印刷・製本等

- ・ユニバーサルデザインへの配慮から見やすく、印刷は鮮明で、字体、行間、糸綴じ製本、材質ともに適切である。文字や楽譜が若干小さめだが、行間を広げて見やすくしている。

3 選定理由

選定した教科用図書

種目 教科書	発行者の 番号		教科書名(シリーズ)
	略称		
音楽(器楽)	27	教芸	中学生の楽器

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・リコーダー、ギター、和楽器5種類、打楽器を取り扱う内容で構成され、各楽器の特徴は構造的にとらえ、奏法を技術とともに理解できるようにしている。
- ・基礎的な奏法が理解できるように、様々な角度の写真を掲載し、楽器の構え方や指の使い方等、わかりやすく表現している。
- ・アンサンブルセミナーでは、合奏曲の導入としてポイント等を吹き出して助言するなど、主体的に活動できるための支援が表示されている。
- ・各楽器の技能の高め方をスマールステップで提示するなど、関心や意欲を持たせて主体的に学習を進めるための工夫がされている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・音楽マップや学習の窓口で、各教材の学習ポイントを確認できるようにしている。
- ・生徒が主体的に取り組めるように、「Q&A」形式の説明や「音を聴いて確かめよう」、「練習のポイント」など、関心を引き出す工夫がされている。
- ・アンサンブルセミナーでは、楽曲ごとに学習目標が示され、共通事項に関連させて、課題をもって練習に取り組めるようになっている。
- ・和楽器について、実際の演奏練習に使えるような説明があり、奏法・音色等の特徴がわかるように具体的な表現がされている。

(3) 分量

- ・演奏用教材として、リコーダー15、ギター3、箏3、三味線1、篠笛2、太鼓1、尺八1、が掲載され、12種類の打楽器が紹介されている。
- ・リコーダーでは前半の基礎編が、レベルも適切で一斉指導ができるようになっている。後半の合奏曲は12曲取り上げており、基礎と応用のバランスもよくとれている。

(4) 使用上の便宜

- ・楽器と奏法の説明には、演奏家の写真やメッセージが掲載され、現在活躍中の演奏家達がモデルとなっているのが新鮮である。
- ・演奏する楽器や曲ごとに目次を色分けして表現し、ページ毎に目標設定ができるように配置されている。

(5) 印刷・製本等

- ・ユニバーサルデザインに配慮され、色、楽譜、写真配置等が適切で印刷は鮮明である。
- ・糸綴じをしてあるので、本を開いた状態が保てるため演奏中に楽譜が見やすい。

3 選定理由

選定した教科書

教科書 種目	発行 番号	者 の 略 称	教科書名（シリーズ）
			美術 1 美術 2・3 上 美術 2・3 下
美術	116	日文	

選定理由

（1）内容の範囲及び程度

- ・3年間を通して、自己、生活、社会・自然・環境というステージで学習できるようになっている。
- ・3年間を系統立て、発達段階に応じた内容になっている。
- ・絵画や彫刻、デザインや工芸、鑑賞など、全体的に、領域のバランスが取れた構成になっている。

（2）内容に関する配慮事項

- ・「学びのねらい」「POINT」「作者の言葉」等が整理されている。
- ・「共通事項」、言語活動の充実、道徳との関連性などに配慮し、マークを付している。
- ・日本と日本以外の作品とを比較しやすい構成になっており、他国の文化や国際理解の態度を養う内容になっている。
- ・美術1は、小学校からの連續性を意識し、造形体験を生かした活動や身近な生活に根ざした学習内容になっている。美術2・3下では、自己の成長を振り返り、生涯学習へのつながりを持たせている。
- ・生徒作品や生徒の活動場面の写真が多く、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。
- ・生徒による自身の作品についての解説があり、言葉で伝え合うなど言語活動が意識されている。
- ・刃物の使い方と安全面への配慮が見られる。

（3）分量

- ・各領域毎の内容量のバランスが良く、適当である。

（4）使用上の便宜

- ・発達段階に応じて内容が整理され、三冊構成になっている。
- ・生徒の制作の様子やアイデアスケッチなどを掲載し、題材の参考例が豊富である。
- ・写真や図版が鮮明である。
- ・「作者の言葉」がわかりやすく、生徒の関心を引く配慮がなされている。
- ・鑑賞の資料及び技法や色彩などの巻末資料が充実している。
- ・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。

（5）印刷・製本等

- ・本のサイズがA4ワイドで、図版が見やすい。
- ・伝統芸術の見開きページで和紙を使用し、質感からの鑑賞活動ができるようにしている。

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発行者 の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
保健体育	224	学研	新・中学保健体育

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 体育分野・保健分野ともに学習指導要領に示された内容となっている。
- 日常生活と関連させ、生徒の発達段階に即した内容となっている。
- 基礎的・基本的な知識や技能の定着と今日的な課題も取り上げて、生徒の興味・関心を高める内容となっている。
- 健康や生涯にわたるスポーツライフ実現のための基本的な記述、構成となっている。

(2) 内容に関する配慮事項

- 各章の始めに領域と関係のある「ひと」や「職業」を示し、学習内容と関連させている。
- 1単位時間を意識した構成で、各項目で「学習の目標」を提示し、「エクササイズ」や「活用しよう」を配し、生徒が答えたり、話し合ったり、さらに深めたりする学習活動を提供することで、思考力・判断力などを育成する内容となっている。
- 保健分野では各章のはじめに「小学校で学習したこと、高校で学習すること」の関連を示している。
- 章末には「探求しよう」「章のまとめ」を配し、学習の振り返りや発展的な学習を行わせる。また、テスト形式の問題で、学習内容が確認できるよう構成されている。
- 教科書の使い方を丁寧に示しており、たくさんのマーク（コラム、リンク、探求、実習等）を用い、学習内容を深めたり、発展させたりできるように配慮されている。
- 実技の動きを示す部分には、写真を多く使用している。

(3) 分量

- 体育分野「体育理論」：内容(1)(2)(3)は各3項目。
保健分野：1年内容(1)8項目、2年内容(2)及び(3)14項目
3年内容(4)14項目
- 口絵：6ページ ○巻末3ページ
- 索引：4ページで437語

(4) 使用上の便宜

- ページ：左右下部 ○目次：表紙裏面に見開き
- 資料：本文と挿絵や写真がほどよく配置されている。
- 適度にふりがながつけられている。

(5) 印刷、製本等

- 表紙の状態：艶あり ○カラー印刷B5判
- 紙質：白色 上質の用紙

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発行者 の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
技術・家庭	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領に対応した構成になっており、学習指導要領に適合した内容となっている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・「基礎的・基本的な知識や技術を習得」「学習を振り返る自己評価」「循環型社会・持続可能な社会の実践」「技術の発達や伝統文化の理解」「情報モラルの充実」などをもとに編集しており、生活の課題と実践を位置づけ、思考力・判断力・表現力を育成する上で必要な言語活動の充実に配慮した内容になっている。
- ・ガイダンスでは、「技術分野で学ぶこと」「技術を見つけよう」「技術とわたしたちの生活」「学習の見通しをもとう」を各1ページずつ設けた内容になっている。また、最後に「技術分野の出口」という項目を設け、学習したことをどのように生かしていくか考える内容になっている。
- ・「A 材料と加工に関する技術」では、製品の内容を「木材による製作」と「金属・プラスチックによる製作」の2つに分けて記述し、同じ材料での作業の流れが分かるような内容になっている。また、技術を適切に評価し活用することについて、ワークシートを設けて社会的側面、環境的側面、経済的側面で評価する内容になっている。さらに、設計や計画を検討・工夫できるように示している。
- ・「B エネルギー変換に関する技術」では、エネルギー変換効率をいかに高めるかを考えさせる内容になっている。また、自転車のライトを例に、ローラ発電機とハブ発電機の明るさや回転に要する力を比較する方法が示された内容になっている。
- ・「C 生物育成に関する技術」では、トマトの実習例を通して、栽培技術の基礎的・基本的な知識・技術を示す内容になっている。そして、キク、ハナショウブ、ダリアを例にさまざまな繁殖方法を示した内容になっている。また、土のリサイクルや土づくりの内容を設けて、作物を収穫した後の管理について学習できる内容になっている。
- ・「D 情報に関する技術」では、情報セキュリティの内容と情報モラルの内容に分けて記述している。また、情報通信ネットワークに潜む危険性を取り上げたり、それを防いだりする内容になっている。さらに、情報を扱ううえで、必要なルール・マナー・モラルなどでは、身近な例を取り上げた内容になっている。計測・制御の学習では、ココアを入れる例をもとに身近なことをフローチャートに表した内容になっている。巻末にはタブレット端末やスマートフォンなどの例を記述している。

(3) 分量

- ・B判で総ページ270ページであり総重量463gである。
- ・ガイダンス18ページ、A材料と加工に関する技術72ページ、Bエネルギー変換に関する技術44ページ、C生物育成に関する技術40ページ、D情報に関する技術68ページであり、その他に、目次ページ2、技術の出口6ページ、巻末資料12ページ、索引2ページ、口絵5ページ、著作者等1ページである。

(4) 使用上の便宜

- ・14種類のマーク（発展、豆知識、参考、ふり返りなど）を用いて、学習効果が高められるようになっている。
- ・各ページに「学習の目標」を設けている。

(5) 印刷・製本等

- ・全ページカラー印刷で環境に配慮した用紙やインキを使用している。三年間の使用に十分に耐える。

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発行者 の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
技術・家庭	2	東書	新しい技術・家庭 家庭分野

選定理由

(1) 内容の範囲および程度

- ・学習指導要領に適合しており、配列に独自性がある。
- ・基礎的・基本的な内容から応用・発展的な内容へ系統的に展開している。

(2) 内容に関する配慮事項

「全体」

- ・各項に学習目標を示している。
- ・各項に「やってみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」「まとめよう」「生活に生かそう」など、学習活動の導入や終末段階で活用できる課題が提示され、言語活動の充実を図っている。
- ・数多くの写真やイラストにより、生徒の思考を助ける工夫をしている。
- ・編の最後に「学習のまとめ」として学習の振り返りをし、学習内容を今後の生活に生かす工夫をしている。
- ・多数のページの下部に「Q&A」があり、生徒の知識を広げる工夫をしている。
- ・道徳や各教科との関連を「他教科」として示している。

「小学校との関連」

- ・編の最初に、「この編で学ぶこと」や小学校の既習事項をまとめており、小学校での学習をもとに見通しをもって、学習に臨めるように工夫をしている。

「A 家族・家庭と子どもの成長」

- ・幼児との触れ合い体験に関わる内容を記載しており、3パターンの活動事例を示している。
- ・おもちゃやおやつ作りなどの実習例は、学校の実態に応じて活用しやすい。

「B 食生活と自立」

- ・調理実習の手順が見開きで横の流れで示している。
- ・調理実習では、単品の組み合わせの例や配膳例など多種多様のメニューを掲載している。

「C 衣生活・住生活と自立」

- ・衣生活と住生活の実習では、8つの題材で、多様な授業形態に対応できるようにしている。

「D 身近な消費生活と環境」

- ・環境に配慮した消費生活の内容が示しており、環境アクションプランを設定して、家族や自分にできることを考えさせるようにしている。

(3) 分量

- ・「A」は50ページ「B」は80ページ「C」は71ページ「D」は26ページで授業時数から見て適切である。

(4) 使用上の便宜

- ・教科書の最後に「学習を終えて」を記載し、復習に役立てられるようにしている。
- ・「食品成分表」は食品ごとに交互に2色で色分けしている。
- ・イラストは、背景に色をつけ、輪郭がはっきりしている。
- ・写真を使って具体的に説明している。
- ・実習例を多く示して、実践的・体験的学習につながるようにしている。
- ・基礎技能を示し、実践に生かすことができるよう配慮している。

(5) 印刷・製本等

- ・サイズはA4判である。
- ・全ての生徒の色覚特性に適応するようデザインしている。
- ・環境に配慮し、再生紙・植物油インキを使用している。
- ・全ページカラーで印刷している。

3 選定理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発行者 の 番号		教科書名(シリーズ)
	略称		
外国語	9	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・3年間を通して、教科の目標達成に結びつく内容になっている。
- ・内容の程度は各学年の生徒の発達段階に適切である。

(2) 内容に関する配慮事項

①小中の接続

- ・1年生入門期は、「Let's Start」で外国語活動の振り返りをしながら、英語学習に取り組むことができるようになっている。また、文字言語の取り扱いは、聞くこと、発音することなどの活動することから始め、文字言語へ接続するような細やかな配慮がみられる。

②題材・内容

- ・日常・学校生活、職業体験、ボランティア活動、国際理解、自国の伝統文化・異文化理解、自然科学、平和、福祉などを取り扱っている。
- ・道案内では、福岡市の地下鉄が取り上げられている。

③単元構成

- ・1セクションを2時間で進めるよう想定されている。まず、Basic Dialogで言語材料を使用場面で理解できるよう会話形式で提示し、Listen→Speak→Tryの活動を通して習得し、本文読解でさらに理解を深め、4技能を育成する構成になっている。

④言語活動の取り扱い

- ・「My Project」が3か所設定され、日頃の学習の到達目標が明示されている。「My Project」達成のために、単元「Program」が設定され 毎日の学習を積み重ねて、総合的にコミュニケーション力を育成するものとなっている。
- ・4ページで、モデル文→構成を理解→プランニング→プレゼンテーションと、細やかな手立てがあり、生徒・指導者がそのまま使用してコミュニケーション活動に取り組めるよう構成されている。必ず協働的学習を行うよう設定されている。

⑤Can do リスト

- ・唯一、4技能について3学年分が設定されている。どの学年にも巻末に3年間分のリストがついているので、3年間を通じて、何をどうできるようになればよいか、なったのかを生徒が自分でチェックできるようになっている。

⑥その他の特徴

- ・「英語のしくみ」で文法事項がわかりやすくまとめられており、生徒が自主学習で活用できるものになっている。
- ・1年生では、使用頻度の高い動詞を活動しながら習得できるよう、切り離して使える絵カードが添付されている。

(3) 分量

- ・新出単語数は、1年(10課528語)、2年(11課420語)、3年(9課299語)、総計1247語取り扱われており、発達段階にあわせて無理なく指導できるように構成されている。
- ・本文総語数、新出単語は学習指導要領に準じ、適切である。

(4) 使用上の便宜

- ・全学年とも、単元にあった、親しみやすいイラストや写真が扱われており、本文の内容を理解しやすくなるように工夫されている。

(5) 印刷・製本等

- ・印刷は、カラーの写真・イラストも含め鮮明で見やすい。
- ・製本は、見開きA B判で使いやすく、丈夫である。

4. 委員名

(1) 第九地区教科用図書採択協議会

会長	日高 良	柳川市教育委員会	教育長
副会長	記伊哲也	大川市教育委員会	教育長
監事	平山浩一	大木町教育委員会	教育長
委員	安田昌則	大牟田市教育委員会	教育長
委員	長岡廣通	みやま市教育委員会	教育長

(2) 選定委員会（総括部会）

委員長	大川市立大川東中学校	今村 和博
副委員長	柳川市立三橋中学校	境 宏文
委員	大牟田市立甘木中学校	井上 茂樹
委員	みやま市立東山中学校	野口 易子
委員	みやま市立山川中学校	大津 千代美
委員	柳川市立柳南中学校	池上 裕徳
委員	大川市立大川南中学校	渡邊 賢二
委員	大牟田市立宅峰中学校	和田 洋子
委員	大牟田市立田隈中学校	菅原 幸典
委員	みやま市立東山中学校	長 裕二
委員	大牟田市立甘木中学校	遠藤 雅章
委員	大牟田市立大牟田特別支援学校	西田 雅子
委員	大牟田市立白光中学校	城崎 清彦
委員	大牟田市立橋中学校	石橋 宏宣
委員	柳川市立柳城中学校	本村 晃一
委員	柳川市立昭代中学校	丸山 昌彦
委員	みやま市立瀬高中学校	藤丸 浩一
委員	大牟田市立歴木中学校	松尾 直子